

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101680
法人名	社会福祉法人 中江報徳園
事業所名	グループホーム サンシャインひまわり
所在地	鹿児島県鹿児島市伊敷五丁目4番17号 (電話) 099-295-0793
自己評価作成日	令和5年2月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

サンシャインひまわりは平成29年10月1日に開設し、国道3号線沿いの伊敷脇田バス停のすぐ近くで大変わかりやすい場所に同じ場所に立っています。伊敷ひまわりモールとして、1階は交流サロン、介護支援センターひまわり園、ヘルパーステーション、小規模多機能ホームひとまとわり、2階にサンシャインひまわり、3階に住宅型有料老人ホーム知恩があります。

- ・[知恩報徳]～人は恩の海に住む～高齢者が明るく、豊かな生活を送れるよう、その恩に感謝し社会に貢献する。職員全員がこの理念を念頭に置いて仕事に臨んでいます。地域との交流をはかる為、令和2年まではひまわりカフェ、未来食堂、よかよか体操、地域周辺の清掃、小学生の社会科見学の受け入れなど行っていました。現在はコロナ禍により残念ながら地域との交流が出来ておりませんが、コロナ禍が収束し、以前のように地域との交流が出来る日が早く来ることを待ち望んでいます。ご家族より情報が欲しいとのご意見があり、定期的な連絡や3ヶ月1回の事業所のお便り、1ヶ月1回の担当職員によるお便りコメントを郵送し、現状をお伝えしております。
- ・職員も利用者様の生活を第一に考え、安心、安全に暮らせるよう介護支援行っています。また法人内研修や外部研修へ参加し自己研鑽に努めケアの向上を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は3階建ての2階に有り、1階はヘルパーステーション、小規模多機能ホーム、介護支援センター、交流サロンがある。3階は住宅型有料老人ホームで、防災訓練は建物全体で実施し、それぞれの役割を担って協力体制を構築している。
- ・法人の基本理念や年度別目標・事業所目標を事務所に掲示し、共有して実践している。
- ・当事業所はユニットが東西にあり、利用者の行動も観察でき、利用者間でも交流している。事業所内で運動会を開催し、利用者の宣誓があり、玉入れ等の競技を楽しめるよう工夫している。
- ・希望のかかりつけ医継続の支援を家族の協力で行い、月1回の訪問診療、週1回の訪問看護で健康チェックし、訪問看護ステーションと24時間医療連携体制で適切な医療が受けられるように支援している。また、必要時歯科医の往診もあり、口腔衛生についても指導をもらっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の掲げた基本理念、年度別目標、事業所の行動目標を事務所に掲げ日々実践している。	法人の基本理念と年度別目標は法人と共有し、事業所の行動目標も事務所に掲示している。法人の基本理念はパンフレット伊敷ひまわりモールに掲載している。「他人事から自分の事として利用者に接しよう」という心構えで支援を行い年度末に、振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染防止の為、ここ数年は、地域との交流が現在出来ていない。	町内会に加入しているがコロナ禍で交流は自粛している。ユニット同士の交流や3階有料法人ホームの入居者との挨拶等を交わしている。毎週1～3階の管理者で話し合いを行い情報共有している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍前は、運営推進会議やひまわりカフェなど開催し、気軽に相談できる場を設けていたが、現在も感染防止対策の為、実施出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防の為、運営推進会議は開催出来ないが、資料配布にて現状報告し、意見を聞いている。</p>	<p>2ヶ月毎に入居者状況・行事・事故やヒヤリハット・内部研修等のホームの現状を書面で配布や郵送で委員へ報告している。事故やヒヤリハットについてはその都度、職員間で改善策を話し合い、全体会議でも報告しサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>介護認定の更新や待機者情報の報告、また生活保護等の手続き関係で不明な点など相談し、アドバイスを頂いている。</p>	<p>市担当者とは直接窓口に出向き更新手続きや事故・待機者情報の報告・生活保護手続き等で相談やアドバイスを頂いている。生活保護課とは年1回の訪問時に生活状況を伝え情報共有する等、常に連携・協力関係にある。市主催の研修にはオンラインで参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修などで身体拘束の意味を理解し、身体拘束しないケアに取り組んでいる。出入口に施錠はしていない。</p>	<p>マニュアルがあり身体拘束廃止委員会、適正化委員会を3ヶ月毎に開催し、研修会でも身体拘束をしないケアを学習している。ミーティングでもスピーチロックについて意識づけをしている。玄関の施錠はせず、外出希望の場合は利用者に声かけをしたり、思いを傾聴したり、職員と一緒に屋上に行ったり、家族に電話する等、利用者に応じて対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会などに参加したり、常日頃から言葉使いや態度など職員同士で注意しあうよう心がけている。また、ニュースや新聞記事などの事例を取り上げ検討し話し合いをしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人内の研修に参加し、学んでいる。必要な時には、活用出来るようにしたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時に契約書、重要事項説明書を詳しく説明した上で同意を得ている。また、料金改定時には直接説明を行い、理解、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>事業所に意見箱を設置し、ご利用者からは、日々の暮らしの中で意見や要望を聞き取っている。ご家族から面会時や来訪時、電話にて状況をお伝えして意見や要望を頂くよう努めている。</p>	<p>利用者からは暮らしの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会や来訪時、電話で状況報告し意見や要望を聞く機会を設けている。毎月便りと共に行事の写真や担当者が生活状況と健康状況を報告している。3ヶ月に1回全体行事など郵送報告している。コロナ感染症が5類への移行に伴い面会は柔軟な対応をして欲しいとアンケートからの意見があり、検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の提案や気付きなどでカンファレンスなど話し合い、朝礼や申し送りノートなどの情報共有が出来ている。また、年2回職員との面談を行い、意見や要望を聞き取っている。</p>	<p>管理者は毎月の職員会議や分科会・朝礼・カンファレンス・申し送りノート・日々の関わりでの会話等から意見や提案を聞いている。年2回の面談や必要時ヒアリングを行ったり、管理者から声かけし意見を言いやすい環境作りをして、運営に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、毎月の会議などで実績、勤務状況などを把握して職員がやりがいを持てるよう環境整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部、外部の研修計画を作成して案内も随時行い、研修を受ける機会を作っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍で交流の機会は減っているが、管理者がグループホーム連絡協議会の研修会に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	元気な頃の趣味や生活環境などをご本人やご家族からお聞きしている。入居時に安心した生活が送れるように不安や困りごとなどに対応して利用者との信頼関係を築けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人、ご家族の意見や要望、困りごとを十分に聞き、ニーズを引き出すようにし、望んでいる生活が出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状況を見極め何が必要か、医療機関、他の専門機関等の意見や情報収集を行い、スタッフと協議して支援とサービスを取り入れている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の個性や生活歴を大切に、出来る事を見極め、日常生活で役割を持って頂く。出来ないことをお互いがサポートして共に寄り添って暮らしていきけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍の為、面会制限した中ではあるが、少しでも面会出来る機会を作っている。ご家族が抱える悩みや心配事も話し合えるように面会時や電話などでコミュニケーションをとっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族に許可を取った上で知人や友人の方との面会や電話での取り次ぎを行っている。また、コロナ禍の為、面会の方には、感染予防を行い、面会制限に応じた面会の機会を作っている。	家族や許可を得た友人・知人の面会は窓越しやビニール越しの為、子機やPHSを用いて会話出来るよう工夫したり、週1回の家族からのハガキ・手紙・電話の取次や利用者に応じて代読支援もしている。馴染みの訪問理美容を2～3ヶ月に1回活用し、馴染みの人との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクリエーション活動を通して入居者同士ふれあい、語り合いの場を多くして関係性を深めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も退居先やご家族との連絡を取り、情報提供など行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃から一人ひとりとコミュニケーションを図り、ご本人の要望に近づけるように傾聴している。意思や言葉にして伝えられない方には、表情や行動から読み取り職員間で話し合いをしている。	日頃の対話の中やお茶の時・居室で過ごしている時に思いや意向を聞いている。困難な場合は表情やそわそわする様子・立ち上がりなどの行動を職員間で話し合い、本人中心に検討し支援している。家族にも状況を報告し意見を貰っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の面談にて、ご本人やご家族、相談員、ケアマネジャー等から聞き取り、職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの心身の状態を把握し、日々記録に残している。その度に職員間で情報共有し、支援に繋げている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人とご家族の意向を聞き、職員間でモニタリングやアセスメントを実施している。定期的な評価やアセスメントを繰り返しながらその都度カンファレンスを開き、その方の現状に応じた介護計画書を作成している。	本人・家族の意向を聞き、主治医や訪問看護師・薬剤師・職員間の意見をアセスメントし、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎、見直しは6ヶ月で状況変化時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々様子を観察して記録に残している。個別記録の情報は、職員全員で共有出来るようにして介護計画書の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりに合ったサービスの提供を心掛け、マニュアルにとらわれず柔軟性を持って個々の希望に沿ったサービスの提供に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事の参加やボランティアの受け入れ等行う予定であったが、コロナ禍の為、出来ていない。今後も地域との協力、連携を取り安心した生活が出来るように支援していく。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族が希望される医療を受けられるようにかかりつけ医と連携を図り、受診や訪問診療などで適切な医療提供が出来るように支援している。	本人や家族が希望するかかりつけ医と連携し、家族同伴での受診や2週間に1回の往診、月1回の訪問診療、訪問看護師による週1回の健康チェックで健康管理している。訪問看護ステーションとの24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。必要時、歯科医の往診や口腔衛生についても指導を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤の看護師がいない事で職員が入居者の日々の状態を把握し、体調変化に気を付けて早期発見に努めている。異常時は、看護職員へ報告、相談し、主治医への報告や指示を受け対応出来るように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、入院先の担当者や情報共有して状態把握や退院に向けての相談などを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化や看取りに関する対応について、ご家族へ説明を行っている。看取りについては、「看取りの関する指針」にて事業所の方針を共有した上で取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時、重度化や看取りに関する対応について、マニュアルに基づいて説明し、同意書を貰っている。重度化した場合、主治医の説明があり、家族の意向を確認し、方向性を話し合っ共有し、主治医や訪問看護師と連携しながら支援している。看取りケア実践時は感染対策し家族も同席している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時のマニュアルを掲示して職員全員が対応出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>建物内（伊敷ひまわりモール）での防災訓練を年2回行っている。</p>	<p>防災訓練を建物全体で年2回実施している。消防署立会の夜間想定で職員が役割分担し通報・避難訓練・消火訓練を実施し総評をもらっている。避難場所は駐車場となっている。自主訓練は昼間想定で通報・消火訓練を予定している。建物全体の協力体制を構築している。防災機器は年2回業者に依頼し点検している。備蓄は3リットルの水を3日分、米と味噌・レトルト食品を厨房に準備し、カセットコンロ・懐中電灯・ヘルメット各1個、防寒着も準備している。オール電化の為、自家発電機がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせた丁寧な対応を全職員で心掛けている。個人のプライバシーに配慮し、ゆっくり分かりやすい言葉使いを心掛けている。	年1回法人全体で人権擁護、接遇マナーについて研修で学んでいる。入室時はノックして声かけをしている。排泄や入浴時は声かけを工夫したり、ドアを閉める等、プライバシーに配慮し利用者の特性に応じて対応している。呼称は苗字でさん付けで呼んでいる。場面で声かけしながら自己決定できるよう支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の要望に近づけるよう傾聴し、また表情や行動から読み取り職員間で話し合いを検討している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的なスケジュールはあるが、入居者一人ひとりの個性を尊重し、その日のペースや体調、気分に応じた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご自分で出来る身だしなみはして頂いている。衣類に関しては、季節に応じた衣替えを行い、その人らしいおしゃれが出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士が作成する献立で職員も参加し、専用厨房での調理をしている。入居者と一緒に準備や片付けは行っていない。個人の好みや食事形態に配慮した食事提供をしている。	法人の栄養士が献立作成し、専用厨房で職員も参加し調理を行い、個々の食形態で盛り付けをしている。おせちや花見弁当等の行事食や鍋パーティ、敬老会や誕生会は手作りのケーキやプリンアラモード、ロールケーキをアレンジしたもの等、みんなでお祝いし楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が作成した献立でバランスの整った食事提供をしている。摂取量や水分量など把握し、記録している。摂取量が少ない方については、ご家族に協力をもらい好きな物を提供してもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの声掛けや介助を行い、口腔内の清潔保持が出来るようにしている。口腔ケアの方法や口腔内についての分からない事を協力歯科に相談して指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的なトイレ誘導やご本人の訴え時に介助を行っている。毎日の排泄チェックを行い、職員同士で共有している。夜間は、ポータブルトイレやオムツ対応など日中とは違い、個人の状態に合わせた支援を行っている。	排泄チェック表でそれぞれのパターンを把握し、時間帯や車椅子からの立ち上がり動作等から判断し、トイレ誘導をしている。排泄用品はリハビリパンツにパットを調整している。夜間はポータブルトイレやおむつ等、個別に対応している。失禁やパット使用量が減少している事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排便チェックを行い、訪看や主治医の指示で下剤を服用してコントロールしている。水分補給や腹部マッサージなども実施してスムーズな排便が出来るように支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回の入浴を実施している。曜日や時間などは定めておらず、勤務状況や専用厨房業務に応じて入浴実施を行っている。身体機能に応じてリフト浴やストレッチャー浴を実施している。	基本的に週2回の支援である。希望の時間や湯温度・同性介助等に配慮している。リフト浴やストレッチャー浴を個々に応じて活用している。拒否がある場合は声掛けの工夫でスムーズに支援できている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	希望に沿った休息の支援を行い、室温や部屋の明るさ、寝具も本人の希望の物を利用している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人別にファイル作成してマニュアルに沿って服薬介助をしている。薬局による居宅療養管理を受けて安全に服薬管理が出来ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれ出来る事で役割を担い生活している。希望に合わせて書道、工作、塗り絵、脳トレ、歩行訓練、日光浴などで気分転換を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍により、日常的な外出は控えている。花見やコスモス見学などで外出をしている。天気の良い日には屋上へお連れして外を眺めたり散歩をして季節を感じて頂けるよう支援している。</p>	<p>年間行事計画は作成しているがコロナ禍で外出は自粛している。日常的には天気の良い日は屋上で景色を眺めたり、散歩で外気浴や日光浴をしている。桜やコスモスなど季節の花見で外出している。事業所内で運動会を開催し、利用者の宣誓や玉入れ・球技をして、楽しめるよう工夫している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>管理が出来る入居者様は、所持している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>定期的にご家族や知人からの手紙や電話等あり、やりとり出来るように支援している。自ら携帯電話を所持している方もおり、細めに連絡を取り合っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間、居室の整理整頓に努めている。ホールの壁面や天井には季節を感じられる創作活動を飾ったり展示している。</p>	<p>ホールに空気清浄機や加湿器を配置し、定期的に換気を行い、温湿度計で温度・湿度を確認しエアコンで調整し居心地の良い環境を提供している。季節の桃の花や雛人形を飾り、談話室にはソファを配置し、窓際にも1人掛けのソファを置き、外を眺めたり、ゆっくり好きな場所で過ごせるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間では、ゆっくり過ごせるように配慮している。気の合う利用者様同士の語らいの場を作るよう心掛けている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族との写真、思い出の品等持ち込んでいる為、訪室した時など当時のエピソードを聞いたりしている。ご本人の使い慣れた物を持ち込み居心地よく過ごして頂けるよう支援している。</p>	<p>居室には電動ベッド・タンス・エアコン・洗面台が設置してある。寝具類はリースで毎週交換し防水シートや毛布は持ち込みである。ハンガーラックやテレビ・ラジオ・時計・鏡等を持ち込み、化粧品・家族写真等を飾り、本や新聞を自分で購読する等、利用者が自分らしく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室やトイレの場所など分かりやすく表示し、状態が変化した時など職員間で協議し、生活しやすい環境作りを心掛けている。</p>		

V アウトカム項目

東ユニット

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
		○	4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない